

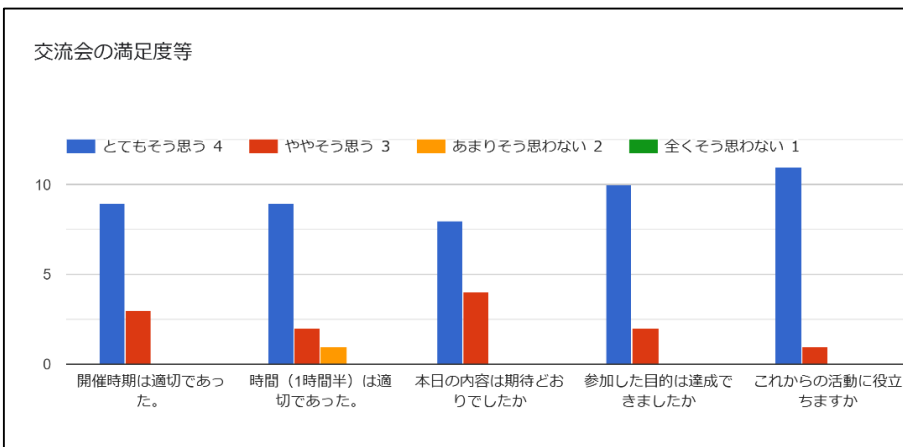
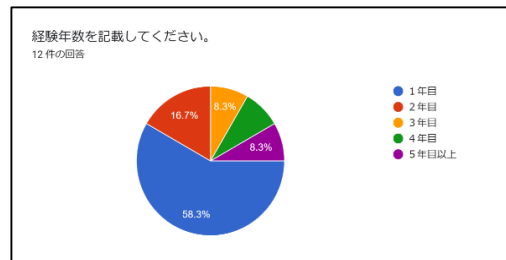
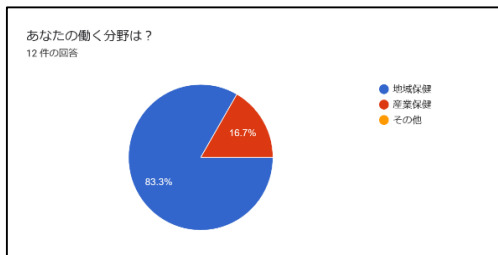
研修名	新任期保健師交流会	
開催日時	令和6年10月19日(土)13:00～14:30	定員 30名
研修形態	集合（高知会場と幡多会場をオンラインでつなぎ交流）	
受講者数	14名(高知会場 9名、幡多会場 5名)	
対象	保健師業務に従事してから4年目までの保健師	
ねらい	新任期保健師の交流を深め、今後の相互の学びの機会につなげる。 ①新任期における保健師間での交流をもつことで、悩みの相談やアドバイスを受け、仕事に対する理解を深めることができる。 ②リフレッシュすることができる。 ③看護協会の魅力を伝え、入会促進につなげる。	
講師	先輩保健師からのメッセージ 仁淀川町主事 松本 夕 幡多福祉保健所主査 明神 未来	
内容	13:00～高知県看護協会保健師職能委員会の活動紹介 13:10～自己紹介 13:15～会場ごとに意見交換 13:50～両会場をWEBで繋いで情報共有 14:00～先輩保健師からみなさんへ(講話) 14:20～高知県看護協会からお知らせ 14:00 閉会	

I 参加者内訳

県6名 市町村5名 産業3名 会員4名 非会員10名

II アンケート結果

1 回答者 12名



2 交流会の感想や意見

- ・普段なかなか交流する機会のない地域の保健師達と話ができて新たな発見もあり、貴重な時間となった。ぜひ又このような交流会に参加したい。
- ・もう少し時間が長くて良かったのではないかと感じた。
- ・こういった場に参加するのは初めてだったが、自分が新任期の頃を思い出した。産業保健分野にいるため行政分野の人と関わることができたのは大変勉強になった。
- ・普段業務の中で関わることのできない人たちと交流できるいい機会だった。
- ・新任期保健師同士の交流の機会となっただけでなく、保健師を目指した理由等を意見交換することで、改めて自身を振り返ることができた。
- ・先輩保健師の話がとても素敵で、内容も勉強になった。
- ・他の地域の保健師や先輩保健師の話を聞き、仕事への意欲が増した。これまで産業保健師の方と関わる機会がなかったが、仕事内容や思いを聞いて楽しかった。
- ・先輩保健師からの話を通して、これからどのような保健師を目指していくかをイメージできた。もう少し各会場で話す時間が長くて良かった。業務で職域のメンタルヘルス対策を行っているので職域の方と情報交換できる時間があればありがたかった。
- ・先輩保健師からのメッセージとして、とても有意義なお話を聞くことができてよかった。これからの仕事に活かしていきたい。
- ・保健師同士でやりがいや嬉しかった事を話すことは、交流の機会になるだけでなく、自分の業務について振り返るきっかけにもなった。また、普段関わることが少ない県保健師・産業保健師の声を直接聞ける機会はとても貴重で、楽しく話を聞くことができた。
- ・普段なかなか交流することのない産業保健師とも話すことができて、とても楽しい時間となった。先輩保健師も新任期の時は私たちと同じような思いや不安があったこと、これまでの仕事の向き合い方などを知ることができて良かった。
- ・普段関わることのない産業保健師とも交流することができ、とても良い機会となった。

III 研修評価

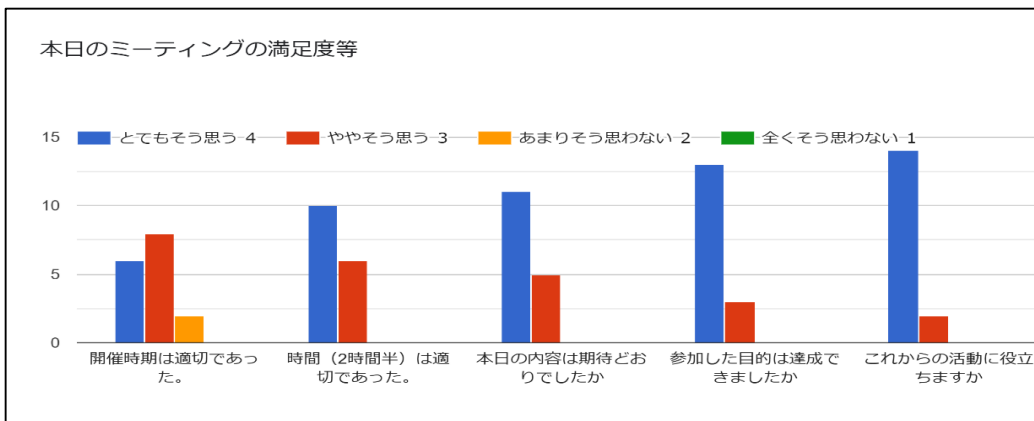
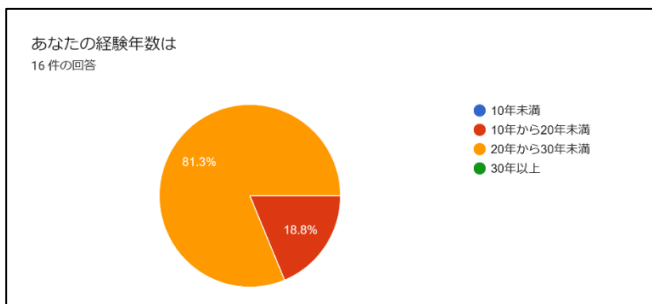
新任期保健師交流会を毎年開催してきたが、本年度は行政保健師に加え産業保健師3名の参加があった。グループワークでは、相互の業務への理解が深まり、メンタルヘルスケアなどの連携について協議することもできた。また、幡多地域でも5名の参加があり、両会場をオンラインで結んでの意見交換や別会場にいる先輩保健師からの講話を視聴し交流した。先輩保健師から、新任期に不安や悩みを抱えながらも日々成長してきた体験を聞くことで、参加者は保健師としての仕事に意欲が増していた。

来年度も引き続き新任期保健師交流会を開催することとし、高知会場と幡多会場をオンラインで繋ぐ方法としたい。

研修名	保健師の人材育成ミーティング ～保健師の経験を成長につなぐ。保健師として何をどう伝えるのか～
開催日時	令和7年2月10日(火) 13:30～16:00 定員 20名
研修形態	集合
受講者数	19名(会員15名、非会員4名)
対象	市町村、県、職域等の保健師(中堅期Ⅱ、管理期Ⅰ、熟練期)
ねらい	各種法律の改正や保健師を取り巻く様々な動きや変化の中、地域における保健師活動に関する指針の見直しも始まり、転換期を迎えている。これらを踏まえて、保健師の人材育成にどう取り組むのか、また、経験をどうつないでいくのか悩んでいる組織や保健師は多い。この交流会では、市町村での実践の話題提供をもとに、保健師として何をどう伝えていくのかをテーマに人材育成のあり方を考える機会とする。
講師	話題提供 中土佐町健康福祉課 課長補佐 吉岡 美紀 高知市母子保健課 母子保健係長 小菅 樹里
内容	13:30 開会 13:40～15:00 話題提供(質疑応答含む) ①「市町村保健衛生職員協議会須崎ブロック保健師部会における事例検討について」 中土佐町健康福祉課 課長補佐 吉岡 美紀 ②「高知市の人材育成の取り組み」 高知市母子保健課 母子保健担当係長 小菅 樹里 15:00～16:00 意見交換 まとめ

I 参加者内訳 県 2名 市町村 17名

II アンケート結果 回答者 16名



〈感想や意見〉

- ・自分だけでなく、同じ悩みを持っていることを知り励まされた。
- ・言いたいことを言って、色んな意見も聞けて、とにかく楽しかった。
- ・意見交換の導入にはなったと思う。発表者の負担にならないように時間も短くてよい。
- ・改めて人材育成の大切さを実感した。
- ・日頃のコミュニケーションの大事さや職場で意図的に事例検討を行うなどの働きかけは効果的であり、大事なことであると思った。
- ・具体的な発表で大変参考になった。
- ・来年度から人材育成に関する仕事を担うことになったので、二人の発表が大変参考になった。特に世代の異なる後輩達へのアプローチを考える機会になった。
- ・具体的に取り組みを聞け、自所属でも使えると思った。グループワークは、交流を含めて楽しかった。
- ・先輩方の話を聞き、当たり前かもしれないが、それぞれの年代で悩みながら働いていることを知り、これからの悩みながら進めばいいのだと勇気もらった。
- ・同じ悩みや苦労や懐かしさなど色々な想いを振り返り、明日への活力にもなった。
- ・一つひとつの事例を大事にすることが、人材育成につながると思った。
- ・人材育成の必要性は感じているが、組織的にどのようにするのかを話す機会が必要と思った。
- ・日々悶々としていたことが、少し解決した気がする。

III 事業の評価

統括保健師を除く中堅期以上の保健師を対象として集会を開催した。新任期などの後輩保健師の育成を担当しながら、自身も統括的保健師の指導を受ける中間的な立場であることから、互いの悩みを共有しつつ、それぞれがエンパワメントされる交流会となった。

人材育成をテーマにすると、主な参加者が統括保健師となり、中堅期保健師が発言しづらくなるが、今回は中堅期のみを対象としたため、安心して語るができる場となった。こうした運営が功を奏し、参加者の満足感が高く、自由記載欄でも「楽しかった」という意見が多かった。

来年度以降も、県が実施する研修では隙間になっているステージの保健師を対象とした交流会に取り組んでいきたい。